



ISM研究会のお知らせ

File Edit Data

Help



日時

06 月 11 日

14 時 30 分

場所

立教大学 5号館

院生控室 教室

テキスト/テーマ

『環境経済学への招待』

編者/著者

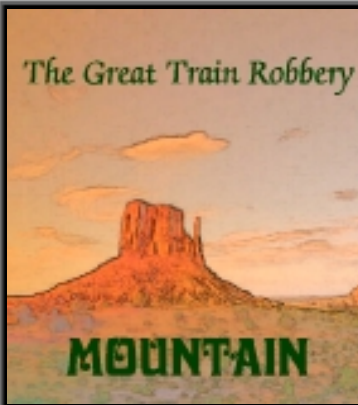
植田和弘

出版社

丸善ライブラリー

範囲

第6~8章



前半期 第3回/通算 第71回

ご案内-詳細

今回も環境経済学の各論部分が対象になります。第6章は、農村の生活環境を保護するような形での開発を提案し、それを分析しています。第7章は、技術・情報・税制という三つの点から、新しい環境制御システムの構築の問題を取り扱っています。第8章は、本書の纏めの部分であって、本当に豊かな社会をつくるためには、環境取奪型の開発から、地域性を重視した開発へと開発戦略を転換するということを強調しています。

報告者

人名	割当
窪西 保人・	第6章
高橋 和敬・	第7,8章

出欠

出席

欠席

OK

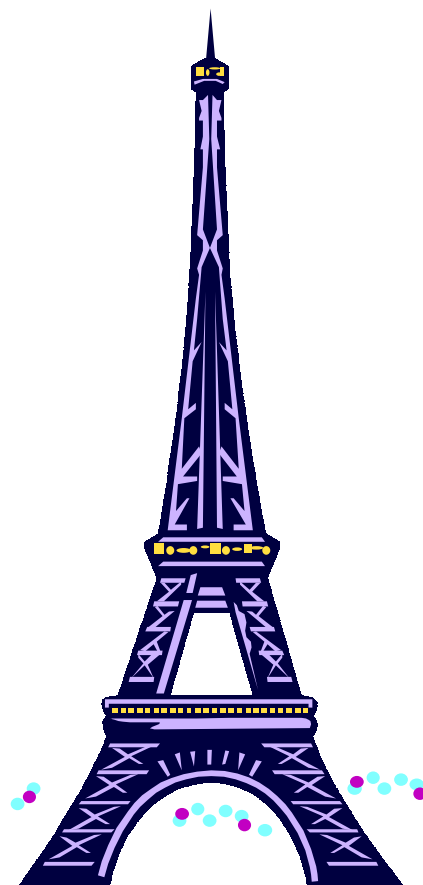
Cancel

Replace

引き続き、植田和弘さんの『環境経済学への招待』(丸善, 丸善ライブラリー266, 1998年4月, 740円)を読んでいます。この本では、世間と近代経済学で地球環境の破壊とそれに対する対策についてどういう議論が行われているのかということが、要領よく纏められています。

今回も環境経済学の各論部分が対象になります。第6章は、農村の生活環境を保護するような形での開発を提案し、それを分析しています。第7章は、技術・情報・税制という三つの点から、新しい環境制御システムの構築の問題を取り扱っています。第8章は、本書の纏めの部分であって、本当に豊かな社会をつくるためには、環境取奪型の開発から、地域性を重視した開発へと開発戦略を転換するということを強調しています。

このテキストの検討を通じて、環境破壊が現代に提起している問題、それに対するブルジョア的な対策の意義と限界などを探っていきたいと考えています。



『環境経済学』は今回で終わる予定です。今後に取り挙げてほしい——あるいは取り挙げるべき——テキストがありましたら、お教えてください。

今後の予定は、——

06月25日(日曜日)

です。予定を立てる際の参考にしてください。